

# なし生育診断予測事業 平成30年産なし開花予測第1報

平成30年3月8日

経営技術課

## 1 開花予測

農業試験場の「ナシの生育診断予測プログラム」による本年の「幸水」の開花予測は、県平均で開花始が4月22日で平年に比べ2日遅く、昨年に比べ1日遅い。開花盛は4月24日で、平年に比べ1日遅く昨年に比べ1日遅い。「豊水」については、開花始が平年に比べ2日遅く昨年並みで、開花盛は平年に比べ2日遅く昨年に比べ1日遅い予測となっている。

これは、自発休眠覚醒時期（12月29日頃）は平年並みであったが、覚醒後の気温が低かったため、現段階の花芽の生育は遅れており、今後の気温の推移を考慮した予測結果である。

なお、今後の気温の経過が、現時点での予想に比べ高くなると開花が早まるので、病害虫防除や凍霜害対策等が遅延しないよう留意する。

## 2 今後の栽培管理の留意点

### 1) せん定・誘引

結果枝が古くなると着果数の減少や品質低下を招くため、積極的な更新が重要である。結果枝等の更新により骨格枝に生じた切り口には、枯れ込みを防止するため癒合剤を塗布し保護する。

作業の遅れは、生産量の低下だけでなく、黒星病の発生も助長するため、計画的に作業を進める。

### 2) 花芽の整理（摘蕾）

質の悪い花芽や上向きの果台については、花芽の整理や摘蕾を行い、貯蔵養分の浪費を防ぐとともに摘果の省力を図る。写真の短果枝は、先端以外の「遅れ花」は必ず整理する。



### 3) 病害虫防除

カイガラムシ類の発生が多かった園では、粗皮削りや休眠期防除を行う。

黒星病については、開花前後が重要防除時期となるため、りん片脱落期以降、計画的に防除を行う。りん片脱落期から開花期にかけて、雨天が多いと発生を助長するため、長果枝利用の多い園地では、十分注意し、必要に応じて追加散布を行う。

### 4) 凍霜害対策

防霜ファン設置ほ場は、通電や稼働状況を事前に確認する。燃焼法を実施するほ場は、少なくとも2～3回程度の燃料を確保する。

### 3 各地域の開花予測

表1 幸水の開花予測値

地点	開花始			開花盛		
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差
大田原市	4/24	2日	1日	4/27	2日	1日
高根沢町	4/22	1日	1日	4/25	1日	1日
那須烏山市	4/23	2日	1日	4/26	1日	1日
宇都宮市	4/23	1日	1日	4/26	2日	1日
農試	4/22	1日	-1日	4/25	1日	-1日
鹿沼市	4/23	3日	2日	4/26	3日	2日
芳賀町	4/23	2日	1日	4/26	2日	1日
栃木市	4/18	2日	1日	4/21	2日	3日
佐野市	4/16	2日	0日	4/19	2日	2日
小山市	4/17	2日	1日	4/19	1日	1日
平均値	4/22	2日	1日	4/24	1日	1日

※平年差、昨年差が-は早まることを、+は遅れることを示す

表2 豊水の開花予測値

地点	開花始			開花盛		
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差
大田原市	4/22	3日	2日	4/25	3日	1日
高根沢町	4/21	4日	2日	4/23	2日	2日
那須烏山市	4/21	3日	1日	4/23	2日	0日
宇都宮市	4/21	1日	1日	4/23	1日	1日
農試	4/20	3日	1日	4/22	2日	-1日
鹿沼市	4/20	2日	1日	4/23	3日	2日
芳賀町	4/20	2日	1日	4/23	2日	1日
栃木市	4/15	2日	-1日	4/18	2日	1日
佐野市	4/13	1日	-2日	4/17	2日	1日
小山市	4/14	1日	-1日	4/17	1日	1日
平均値	4/19	2日	0日	4/22	2日	1日

表3 農試における「にっこり」の開花予測

地点	開花始			開花盛		
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差
農試	4/16	1日	-2日	4/19	1日	-1日